

令和7年第7回(12月)
西原町議会定例会
一般質問通告

質問日	質問議員		
12月5日(金) 4人	① 新田宗信	② 伊集悟	③ 比嘉利和
	④ 前里光信		
12月8日(月) 4人	⑤ 真栄城 哲	⑥ 大城好弘	⑦ 山城勝貴
	⑧ 仲松 勤		
12月9日(火) 4人	⑨ 屋比久 満	⑩ 大城誠一	⑪ 伊計裕子
	⑫ 儀間 駿太郎		
12月10日(水) 3人	⑬ 喜納 昌盛	⑭ 長浜 ひろみ	⑮ 大田 實

	<p>(2) 区画整理事業について</p> <p>ア. 今年度の区画整理事業の進捗状況と完成事業年度を改めて伺う。</p> <p>イ. 仮換地の際、アパートへの入居を余儀なくされている18世帯への一般会計より充当されている件についての決算に伴う監査委員の説明と見解を伺う。</p> <p>(3) 『豊かで活力のあるまちづくり』について</p> <p>ア. 農業の振興</p> <p>(ア) 本町の遊休地の実態と対策を改めて伺う。</p> <p>(イ) 農業委員会の農業政策を伺う。</p> <p>(ウ) 農業者等との意見交換会についての総括を伺う。</p> <p>イ. 観光振興および都市基盤施設の整備について</p> <p>(ア) 改めてモノレールの延伸についての取組を伺う。</p> <p>(イ) 本町のまちづくりにモノレール駅の再開発を含めた都市基盤整備の位置づけが必要かと考えるが町長の見解を求める。</p> <p>ウ. 道路網及び排水施設の整備について</p> <p>(ア) その後の道路網計画による整備状況を伺う。</p> <p>(イ) 金秀鉄工横を通る新設道路設置計画において調査業務委託を行っているとのことでしたがその後の動向を伺う。</p> <p>(4) その他</p> <p>ア. 里道等整備について</p> <p>(ア) 里道 5,047 路線の内訳（農地・市街地）を伺う。</p> <p>(イ) 前回申し上げた道路台帳整備状況について、町道整備と町道の土地取得状況を伺う。</p> <p>イ. 琉大病院の跡地利用についてその後進展があったか伺う</p> <p>ウ. 民生児童委員の役割について</p> <p>母子手当とその仕組みについて、どの様に調査及び証明を依頼しているのか伺う。</p>	<p>町 長 監査委員</p> <p>町 長 農業委員長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 農業委員長</p> <p>町 長</p>
--	---	---

質問者	② 伊 集 悟 議 員	質問の相手
1. 児童生徒の多様性や個性を尊重する「ジェンダーレス制服」について	平成27年から服装の柔軟化、いわゆる「ジェンダーレス制服」や「夏服冬服の切り替え時期の柔軟化」の導入が全国的に進んでいますが、本町の小中学校の取組について。	教育長
2. 不登校の児童生徒及び保護者の支援について	<p>県教育庁によると、令和6年度の不登校の児童生徒数は前年度より419人増の7,432人で過去最多という厳しい結果となりました。これだけ多くの子どもたちが学校に行けずに、悩んだり、苦しんだりしていることを大変心配しています。そこで伺います。</p> <p>(1) 直近の不登校児童生徒の人数及び登校しぶりの人数について。</p> <p>(2) 本年度の中学校の校内自立支援室の取組及び不登校生徒の何割が利用できているか。</p> <p>(3) 教育と福祉の連携の一環として、児童館を活用した支援が始まっているが、取組内容及び不登校児童の何割が利用できているか。</p> <p>(4) 多様な学びの機会を確保するために学校以外の学びの場や居場所はどのようなものがあるか。また利用状況及び課題について</p> <p>(5) 学校保健安全法に基づく健康診断において、不登校児童生徒に機会の損失、未受検はないか。</p> <p>(6) 不登校の対策は、不登校に至る前の登校しぶりの段階やさらにその前の悩んでいる段階からの対応が重要だと考えます。未然防止の観点から早期発見、早期対応の取組について</p>	町 長 教育長

<p>3. 西原東小学校の老朽化及び新校舎建設計画の進捗について</p> <p>4. 西原町立学校通学区域等審議会の審議状況について</p> <p>5. 小那覇・呉屋地域の通学路・生活道路の安全対策について</p>	<p>(1) 老朽化が進む西原東小学校の給食用エレベーターが10月に完全故障(修繕不可)し、給食を4階まで児童を中心とした人手で運搬する状況になったとお聞きしました。経緯と対応について伺います。</p> <p>(2) 西原東小学校建設検討委員会の現時点での進捗状況と内容を伺います。</p> <p>坂田小学校の過密化と西原南小学校の過疎化の課題を解決するために西原町立学校通学区域等審議会が設置されましたが、これまでの審議状況について。</p> <p>小那覇と呉屋の交通量が多い通学路・生活道路へのグリーンベルト及び路面舗装等の安全対策について、9月議会で補正予算が組まれましたが、その後の執行状況について。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>③ 比嘉利和 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 西地区区画整理事業について</p>	<p>西原西地区土地区画整理事業は、町の将来の成長戦略を担う重要なエンジンの一つであります。しかしながら、現在までの進捗においては、複数の要因が絡み合い、計画の遅れが生じております。町の発展のために必要不可欠な本事業を円滑に推進していくためには、これらの要因を整理し、課題を明確化したうえで、解決に向けた具体的方針を示すことが求められるのではないかと私は考えます。</p> <p>【遅れの要因と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 高圧電線鉄塔の移設に係る費用負担と調整の難航 ➤ 関係権利者との補償交渉の長期化 ➤ 社会資本整備総合交付金や沖縄振興公共投資交付金の活用に関する制度上の制約 ➤ 物価高騰・資材費上昇による事業費増大 ➤ 都市計画決定後の周辺環境変化に伴う事業内容の再検討 	

	<p>の必要性</p> <p>➤ 県や国との調整に時間を要している点</p> <p>(1) 西地区土地区画整理事業の現在の進捗率をお伺いします。また進捗が遅れている要因について、町として上記のような複合的要因をどのように整理・分析しているのか、お示してください。</p> <p>(2) 特に、高圧電線鉄塔移設費用の負担や補助金活用の可能性について、町としてどのように国・県との協議を進めているのか、現状と見通しをお聞かせください。</p> <p>(3) 地権者との合意形成を円滑に進めるため、町としてどのような支援策や工夫を講じているのかご説明ください。</p> <p>(4) 物価高騰や資材費上昇に対応するための事業費確保の見込みについて、どのような方策を検討しているのかお伺いします。また、事業計画書の変更や実施計画書の変更は検討しているか、お伺いします。</p> <p>(5) 県道公共施設管理者負担金の交付状況と執行状況についてお伺いします。当該負担金の金額は、物価の変動その他特別の事情がある場合においては、甲乙協議して変更することができるようです。昨今の情勢を踏まえると変更すべきと考えますが、変更協議は行いましたか、あるいはその予定はありますか。</p> <p>(6) 本事業の進捗が遅いと感じる要因は、①土地造成と区画道路の整備遅れにより地権者の土地利用ができないこと、②県道2本。浦添西原線と翁長上原線(県道29号線)の整備遅れに伴う周辺土地利用ができないこと、と考えられます。この2点の整備を進める方策を伺います。</p> <p>(7) 今後、町として事業を円滑に進めるために、住民説明や関係機関との調整を具体的にどのように行っていくのか、ご見解をお示してください。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
--	---	--

<p>2. 温泉資源開発の展望について</p>	<p>(1) 本町では水溶性天然ガスやヨウ素、さらには温泉など多様な地下資源が確認されております。これらの資源を総合的に活用することで、地域エネルギーの確保や産業・観光の振興につながる可能性があります。町として現状の調査状況と今後の方向性をどのように考えているのか伺います。</p> <p>(2) 水溶性天然ガスから副産物として得られるヨウ素は、次世代太陽電池「ペロブスカイト」などの新エネルギー産業に欠かせない素材です。町として、このヨウ素を活かした新産業創出や企業誘致の方向性をどのように描いているのか伺います。</p> <p>(3) 温泉資源の活用について、観光・福祉・防災の観点からどのような可能性を想定しているのか伺います。特に、再生可能エネルギーや地域熱供給としての利用構想はありますか。</p> <p>(4) これらのエネルギーおよび温泉資源を地域の持続可能な成長戦略として位置づけるため、中長期的なビジョンや計画策定の考えはありますか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>3. 治水対策について</p>	<p>本町は、近年、線状降水帯の発生や短時間集中豪雨により、浸水被害が頻発しております。これらの気象現象は従来型の排水能力を大幅に超える雨量をもたらしており、従来型の河川改修や排水路整備のみでは十分に対応できない状況となっております。</p> <p>こうした中で、導流堤や突堤といった流路安定構造物の整備と、排水ポンプ場の新設または能力強化を一体的に進めることにより、流出水の速やかな排除および内水氾濫の抑制を図る必要があると考えます。</p> <p>また、工業団地区域は町の経済活動の中核を担う重要地域であり、災害時の浸水は企業活動の停止や地域雇用への影響</p>	

<p>4. 下水道整備について</p>	<p>など、町全体の経済基盤に直結する問題でもあります。したがって、本町の総合治水計画の中においても、優先度の高い整備課題として位置づける必要があると考えます。</p> <p>(1) 導流堤および突堤設置の必要性について 近年の線状降水帯による被害状況を踏まえ、河川流路の安定化や流出水制御の観点から、導流堤および突堤の設置を町としてどのように評価しているのか伺います。</p> <p>(2) 排水ポンプ場整備の方針について 既存排水施設の能力では対応が困難な地区において、排水ポンプ場の新設計画、あるいは既存施設の能力増強計画を検討しているのかお伺いします。</p> <p>(3) 導流堤・突堤・ポンプ場を一体整備とする可能性について これらの施設を個別に整備するのではなく、地域の地形や流域構造を踏まえた「一体的治水対策」として、町が計画・設計段階から統合的に検討していく方針があるか伺います。</p> <p>(4) 国・県との連携および補助制度の活用について 導流堤・突堤・排水機場などの整備には多額の費用を要することから、国の社会資本整備総合交付金や沖縄振興公共投資交付金などの活用が不可欠と考えます。町は、これらの制度をどのように活用し、県・国との協議をどのように進めているのか、その現状と今後の見通しをお聞かせください。</p> <p>令和7年3月定例会において、町長は坂田ハイツ地区の下水道整備に関連し、「当該区域については下水道敷設工事とあわせて道路を恒久的に町が維持管理していく」と明言し、地域住民に対して約束をされたところでもあります。つきましては、その後の事業進捗状況および今後の見通しについて、次の点をお伺いいたします。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
---------------------	--	---

	<p>(1) 下水道敷設工事の設計および着工に関する進行状況はどうなっているか、伺います。</p> <p>(2) 道路の恒久的な維持管理に向けた町の具体的な対応方針（舗装計画等）はどのようになっているか、伺います。</p> <p>(3) 地元住民への説明・合意形成の実施状況および今後の予定はどうなっているか、伺います。</p>	町長 町長 町長
質問者	④ 前里光信 議員	質問の相手
1. 町政運営について	<p>(1) 高齢者福祉について ア. 西原町の後期高齢者の健康管理について、具体的にはどのような事業を実施しているか。(政策等について) イ. その方々は人間ドックは何%の方が受けているか。 ウ. 町民の平均寿命はどのようなものか。男女別々に数字で示されたい。 エ. 町民の方々の自死の数字はどれ程か。</p> <p>(2) 西原町の農家の方々に町当局が支援している公金はいか程か。又、農家の個数とその平均年収を示されたい。</p> <p>(3) 先日開催された「西原まつり」について、当局はどのように分析しているか。(評価の観点はどのように?) 【従来の「西原まつり」と比較して?】</p> <p>(4) 「おきなわマラソン」の休止について、中部広域の事業とは言え、その運営については課題があった様だが、財政的に関係者がしっかりした立場で検証すべきだと思うが、その点どうか。</p> <p>(5) 去る11月2日(日)、さわふじ未来ホールで催された「跳びはねてもいい音楽会」は主催者が「一般社団法人琉球フィルハーモニック」でしたが、障害の有無や年齢に関係なくだれもが共に音楽を楽しむための共生型音</p>	町長 町長 町長 町長

<p>2. 教育行政について</p>	<p>楽会でした。この様な事業は町民に広く呼びかけるべきものと思うが、関係当局はどのように考えているか。</p> <p>(1) 去る11月9日、西原南小学校の第34回運動会に出席しました。こども園のお子さんから6年生の生徒さんまで、元気いっぱいかけっこや玉入れ、ダンス、団体競技、リレー等がありとてもすばらしかった。ところで、先日から問題になっているいわゆる校区の選定は、今どのようなになっているか。</p> <p>(2) 去る11月10日、令和7年度西原町海外移住者子弟研修生受入事業修了式及び報告会に出席いたしました。研修生や指導者の頑張りのすごさにすごく感動しました。ところで、この研修生の選考については現地（ペルーやその他の南米国々）まかせですか。それとも、特別な方法等がありますか。</p>	<p>教育長</p> <p>町長 教育長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑤ 真栄城 哲 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 女性の就職・就業の継続とキャリア形成の支援について</p>	<p>(1) 現在、我々を取り巻く社会環境は、不安定な国際情勢や紛争、不況、経済状況の悪化等々。ほとんどの家庭が共働きをしないと生活が厳しい中、特に女性の就業を取り巻く環境は、結婚を境に一気に厳しくなる現状がある。その環境を整えていくことが、国・県・市町村の重要な課題である。</p> <p>以下の件を伺う。</p> <p>ア. 町長は、この現状についてどのように考え、取り組んでいるのか。</p> <p>イ. 女性の就職・就業の継続とキャリア形成の支援状況と実績（直近5年）を伺う。</p> <p>(2) 前述と並行し、子育てとの両立支援も不可欠である。本町の支援状況を伺う。</p>	<p>町長</p>

<p>2. Park-PFI や都市公園の活用について</p>	<p>Park-PFI は、全国64自治体で102箇所（2022年3月末）で活用され、2017年の制度創設から急速に活用が拡大している。そこには、各自治体の地域の活性化や維持管理費負担減の思惑がある。以下の件を伺う。</p> <p>(1) 現在、サウンディング調査に入る前の情報収集中であるが、どのように作業を進めているのか。また、サウンディング調査はどの様に行うのか。</p> <p>(2) 特にイルカ公園周辺は、大型MICE施設やその後背地の商業エリアの開発。また、幸地ICや国道329号西原BPの開通に伴う賑わいも期待され、それをうまく取り込む計画も重要だが、本町はどの様に考えているのか。</p> <p>(3) トレーラーハウス型カフェを活用した地域活性化に係る連携・協力に関する協定書を締結したと周知されたが、その経緯や目的等を伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 下水道事業 について</p>	<p>下水道事業の現状は、単年度の事業量がキャパを超え、事業費規模に対してのマンパワー不足が単年度繰越額が大きい、ひとつの大きな要因である。令和6年度ベースで事業規模は、約14億円である。以下の件を伺う。</p> <p>(1) 令和6年度で繰越した主な原資と金額を伺う。</p> <p>(2) 現在の執行体制を伺う。 ※人数、増減等。</p>	<p>町長</p>
<p>4. 農業振興計画 について</p>	<p>西原町農業振興地域整備計画書（令和6年2月）を策定し、振興整備を行っています。 以下の件を伺います。</p> <p>(1) 農業経営の規模拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用への誘導・促進の方策の実施状況を伺う。</p> <p>(2) 農業近代化施設の整備計画の実施状況</p>	<p>町長</p>

	<p>て各種統計データなどの資料が公開されている。分析資料と統計データから見える課題と対策について伺います。</p> <p>(3) 介護予防や生活支援サービス等の充実に向けてボランティアをはじめ多様な担い手の確保が必要であると考えます。大学等との包括連携協定を通じて有償ボランティアを含めた仕組み作りについて取り組み状況を伺います。</p> <p>(4) 児童発達支援センターの整備について、障がいのある子どもとその家族が地域で安心して生活できるよう、地域における障害児支援の「中核拠点」として児童発達支援センターの整備が求められています。現在の取り組み状況を伺います。</p> <p>(5) ほのぼのプランでは障がい福祉サービスの手続きの簡素化についてデジタル化も含めて検討し障がいがあっても容易に手続きができるように努めるとあります。現在の取り組み状況を伺います。</p>	
<p>2. 地域コミュニティ交通について</p>	<p>西原町地域公共交通協議会が立ち上がり地域のコミュニティ交通の在り方について議論がなされている状況かと思えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 西原町地域公共交通協議会について現在の取り組み状況と今後の見通しについてお伺いします。</p> <p>(2) 社会福祉協議会がすでに行っている福足サービス（買い物支援等）との連携や福足サービスから見てきた地域課題は共有されているか伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 町道棚原1号線について</p>	<p>町道棚原1号線について以下の点をお聞きします。</p> <p>(1) 現在棚原1号線で一部通行止めになっている箇所があります。通行止めに至った要因と工事内容、通行止め期間について伺います。</p>	<p>町 長</p>

<p>4. 森川地区のゴミ不法投棄について</p>	<p>(2) 棚原1号線防災対策事業について今後の計画を伺います。</p> <p>森川地区の宇地泊川高架橋の下や側道、宇地泊川周辺のゴミの不法投棄が続いているほか、粗大ゴミにとどまらず一般家庭ゴミやペットボトル、空き缶などのゴミも散乱している状況が見受けられます。そこで伺います。</p> <p>(1) 宇地泊川高架橋の下や側道、宇地泊川周辺のゴミ、不法投棄についての対策についてお伺いします。</p> <p>(2) 高架下やその周辺について草刈りなど定期的な環境整備が必要であると考えます。町の見解をお伺いします。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑧ 仲松勤議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 子ども政策推進について</p>	<p>少子高齢化と子どもの貧困に立ち向かう「ゆいまーるにしはら わらびプラン 2025」の実現に向けて</p> <p>本町においては、少子高齢化の進行が大きな課題となっており、出産や子育てをめぐる環境整備が今まさに求められております。</p> <p>「ゆいまーるにしはら わらびプラン 2025」では、未来を担う子どもたちが健やかに成長し、安心して生み育てられる町を目指し、第3期計画の策定とともに、町民ニーズ調査も実施され、その結果、多くの保護者の皆様から切実な声が寄せられております。</p> <p>一方で、本町を含む沖縄県は、低賃金や非正規雇用の増加、ひとり親世帯の厳しい生活環境、高い生活コストや教育格差など、複合的な問題が存在しており、子どもの約4人に1人が貧困状態にあると言われております。実際に令和5年(2023年)の平均年収は全国でも最低水準であり、手取り年収122万円以下で暮らす子どもの割合は、全国平均の約2倍に達している状況であります。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 未来へつなぐ、文教のまち</p>	<p>こうした現実を踏まえ、子育て支援の拡充は喫緊かつ最優先で取り組むべき課題であります。「まちづくりの核は子ども政策」であり、子どもにやさしい町こそ、全ての町民が安心して暮らせる町であります。</p> <p>今こそ、文教の町・西原として、町民とともに子どもを中心としたまちづくりを一層推進していくことが求められています。</p> <p>町民ニーズ調査で寄せられた、就学前児童・小学生の保護者からの意見では、大多数が経済的負担に対する意見であります。</p> <p>多数意見のあった内容について、一部抜粋した内容として以下をあげます。この具体的なニーズ・意見に対する現状の確認と課題の認識、ならびに解決・推進に向けての町長の見解を問います。</p> <p>(1) 0-2歳児の保育料の無償化について 国会衆院予算委員会において、日本維新の会の前原誠司共同代表より0-2歳の保育料支援が不十分との指摘を受け、石破前首相も「保育料が高いことが原因で保育園などに預けたくても預けられないことがないよう、環境整備を進めるべきとの指摘は重く受け止める」としています。我が西原町においても0歳から2歳までの全ての子どもの保育料無償化を実現してほしいと考えます。その場合の必要な予算について問います</p> <p>(2) 待機児童の解消（保育園・学童） 現状と課題、次年度への対応について</p> <p>(3) 給食費の無償化 次年度において、小学校・中学校の給食費の無償化の現状、その予算配分は</p> <p>(4) 学童クラブの利用料が高い 現状と課題、利用料の補助と拡大について</p> <p>(5) 医療費を高校生まで無償化 中部地区市町村等において、全市町村が実施しており地域格差のない子ども医療費の実現を次年度から要求する</p> <p>西原町都市計画マスタープラン 2025-2045 について 今回策定されたマスタープランでは、これまでの西原の歴</p>	<p>町 長</p>
------------------------	--	------------

<p>西原の実現に向けて</p>	<p>史と「文教のまち西原」としての理念を尊重し、各都市拠点の発展とそれらを結ぶ交通の利便性向上、町民の命と財産を守る防災まちづくりを要に「多様な交流を育み 賑わいと魅力あふれる未来へつなぐ文教の町-西原」を将来都市像として、町民や事業者の皆様との協働のもと、住み続けたいと感じる町づくりを進めなければならないとのこと、同感であります。都市計画マスタープランについて以下を問います。</p> <p>(1) 都市計画マスタープランとは 2025～2045年までの計画実現に向けた取り組み</p> <p>(2) 計画の経緯</p> <p>(3) 都市づくりへの課題について、またその対応を問う</p> <p>(4) 計画の位置づけ 都市計画運用指針【第13版】(国土交通省、令和7年3月)によると、都市計画マスタープランは、当該市町村を含む都市計画マスタープランと、議会の決議を経て定められた市町村の基本構想に即したものとするとともに、国土利用計画法(昭和49年法律第92号)第4条に基づく市町村計画等に即したものが望ましいとされています。町長の見解を問います。</p> <p>(5) 各種計画との連携について</p> <p>(6) 推進する「まちなかウォークアブル推進プログラム」とは何か</p> <p>(7) 広域連携や関係機関との連携体制の強化の具体策は</p> <p>(8) 重点的に整備を進めるべき地区・プロジェクトとは何か、またその場所は</p> <p>(9) 進行管理と計画の見直しについてはどのように行うか</p> <p>(10) 西原町都市計画審議会からの(答申)での付帯意見にある「計画の実現に向けて、地域住民参加のもと適切に進行管理を行うよう求める」とはどのように解釈し実行するのか</p>	
<p>3. 火葬場建設の実現にむけて</p>	<p>火葬場等建設について、ますます多くの町民の期待が寄せられています。西原町火葬場等整備基本調査に基づいて、報告書が令和6年2月に提出されました。町長は令和7年度の施政方針において、火葬場等整備基礎調査の結果を踏まえ、課題解決へ向けて検討を引き続き行います。とのことであり、報告書について改め問います。町長の見解を!</p>	<p>町長</p>

<p>4. 町民の声を活かす町づくりについて</p>	<p>(1) 基本的事項について (2) 計画条件の検討 (3) 施設整備計画の検討 (4) 施設設備計画の整理 ア. 必要面積の検討 イ. 概算事業費の算出 ウ. 維持管理費の算出 エ. 事業スケジュールの検討 オ. 事業手法の検討</p> <p>議員報酬の見直しを多様性のある議会の実現を</p> <p>(1) 近年、若い世代や働き盛りの「責任世代」が政治の世界を志さなくなっています。その要因には、政治への無関心だけでなく、議員報酬の低さという現実的な問題があります。議員活動は、議会審議や委員会、地域行事への参加、住民相談、政策調査など多岐にわたり、時間的拘束も大きいため、他の職業との兼業は実際には難しいのが実情です。</p> <p>また、議員には4年に一度の選挙活動という大きな出費が伴い、落選すれば即座に失職するうえ、雇用保険などの社会的保障ありません。こうした実態を踏まえると、現行の報酬水準は十分とは言えず、地域の将来を担う人材確保の面でも課題があります。</p> <p>とりわけ問題なのは、多様性を欠く議会が生まれつつあることです。議会は、独任制の町長と異なり、住民の多様な意見を反映する合議体として存在しています。その多様性こそが、二元代表制の根幹であり、議会の存在意義です。成り手不足が続けば、議会の団体意思決定・政策立案・行政監視といった本来の機能が弱体化し、結果として二元代表制の趣旨が損なわれることとなります。これは、自治の健全性を脅かす“町にとっての危機”とも言える状況です。これらを総合的に改善し、住民の多様な声を反映できる議会を維持していくためには、報酬の引き上げを検討すべきです。議員報酬の適正化は、個人の利益のためではなく、議会の質を高め、地域の未来を守るための投資であると考えます。町長の見解を問う。</p>	<p>町長</p>
----------------------------	---	-----------

(2) 西原町議会議員報酬（及び町三役の給与）についての答申について～西特審第2号（令和6年2月14日）より～

1 西原町議会議員報酬額（及び町長、副町長、教育長の給与額）に関する 審議会の意見については、次表のとおりにすることが適当である

区分	現行（月額）	答申（月額）	備考
(1) 議長	318,000 円	350,000 円	南風原町同額。 議員定数について付帯意見参照
(2) 副議長	266,000 円	290,000 円	
(3) 議員	243,000 円	263,000 円	
(4) 町長	754,000 円	790,000 円	南風原町同額。 改正時期について付帯意見参照
(5) 副町長	610,000 円	645,000 円	
(6) 教育長	573,000 円	604,000 円	

（付帯意見）

西原町議会議員の報酬額については、現役世代の議員のなり手不足を解消し、住民自治の充実を図っていくため、県内類似市町村と同程度の報酬額にすることは妥当であると考え。しかしながら、議員定数についても、人口が同規模の南風原町を参考に現行の19人から16人若しくは15人に削減する必要があると考える。定数削減と報酬改定を同時に行い、次期改選後より適用するのが望ましい。

同様に、特別職（町長、副町長、教育長）の給与についても、南風原町同程度の給与額が妥当である。新たに就任または任命される次期において給与改定を実施するのが望ましい。[教育長については、町長、副町長と任期がずれるため令和6年度当初より改定することが適当である。]

西原町特別報酬等審議会 会長 下地浩之

- ア. 審議会からの答申を受けての町長の見解を問う
- イ. 審議会委員は何人、またその職歴は
- ウ. 議員報酬を検討するにあたって下記の事項に留意されたか
 - (ア) 審議会委員は議会の活動状況を把握している人を選任したか

<p>3. Park - PFIについて</p>	<p>9月議会でも質問しましたが、去る11月3日～5日にかけて、福岡市、福山市で視察研修を行いました。</p> <p>福岡市の業者の研修会では、スケートボード、3×3バスケットボールの施設や、カフェやレストランなどの飲食物施設を整備した複合型施設のレクチャーを受けました。</p> <p>福山市では、46万都市では有るが、なかなか若者が集まらないという事で、地元の有志や若者（企業家）が主導して、何回かリノベーションスクールを開催し、行政と有志が協力して、やっとスタートしたそうです。</p> <p>議事堂で座学の後、福山市中央公園Park-PFIを実施している所を視察研修しました。</p> <p>単純に西原町とは比較できませんが、行政が魅力ある福山市にしたいと言う強い意気込みを感じました。</p> <p>以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 本町でも、他の市町村と差別化し、オリンピック種目である、沖縄初のスケートボード施設を作れば、県内外から利用客が西原町へ訪れると思いますが、町長の前向きな見解をお聞きします。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. ふるさと納税について</p>	<p>お店でふるさと納税の寄付ができる「ロケふる」を紹介され、大阪から担当者が来て勉強をさせてもらいました。そこで以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 本町の令和5年度、令和6年度、令和7年度のふるさと納税額をお聞きします。</p> <p>(2) 本町の返礼品人気No.3をお聞きします。</p> <p>(3) ロケふるは、返礼品の開拓をしなくても例えば、地域のそば屋さんに置いてある、地域で作ったトマトやシークワァーサーが返礼品として購入し持ち帰ることが出来る新しい納税です。</p> <p>是非、沖縄初の「ロケふる」納税を本町でも取り入れて欲しいと思うが、町長の見解をお聞きします。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>5. コロナワクチン接種について</p>	<p>(1) 65歳以上のインフルエンザワクチン接種は、他の市町村と同じように1,000円ですが、コロナワクチン接種は、他市町村より高い7,000円なのかをお聞きします。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑩ 大城誠一 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 教育・保育および子育て支援サービスの拡充について</p> <p>2. 道路行政について</p>	<p>ゆいまーるにしはらわらびプラン2025位において、崎原町長は、これまでの取り組みをさらに発展させ、より一層の充実を図ることを目指しています。具体的には、子どもたちが安心して遊び、学ぶことが出来る場の提供や、保護者の皆様が家庭や仕事の両立が出来るような支援体制の強化を進めてまいります。また地域の皆様との連携を深め、子育てに関する情報共有や交流の場をもうけることで、地域全体で子育てを支える意識を高めていく所存です。さらに、こどもたちが多様な経験を通じて成長できるよう、教育・保育の質の向上にもちからをいれてまいります。述べておられます。</p> <p>そこで、教育・保育および子育て支援サービスの拡充の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) こども誰でも通園制度については、来年度から本格実施されることになり、全ての自治体が今年中に利用可能時間等の基準を定めるとともに、条例の制定や実施に向けての利用者への周知を行う必要があります。この事業の準備状況並びに事業費について</p> <p>(2) 町内認可保育園の延長保育事業については、利用保護者の就労支援としてとりくまれている。しかし保育士不足からこの事業を休止する認可保育園があると聞く町としての対策は</p> <p>街路事業東崎兼久線の進捗について</p> <p>(1) 本事業は国道329号線から海側については、令7年度に工事完了する計画となっているが予定通りすすむのか伺います。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>

<p>3. 教育行政について不登校</p>	<p>(2) 東崎兼久線は通学路として利用されているが・付近には外灯がなく、夜になると真っ暗であぶなく住民から、この通りに外灯を設置してほしいと要望がある。町としての取り組みは</p> <p>文部科学省は、2024年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上諸問題に関する調査」の結果が発表され不登校小中生全国 35 万人、県内 7432 人だった。県内の小学校が前年度比 7・3% (239 人) 増の 3523 人、中学校が 4・8% (180 人) 増の 3909 人だった。千人当たりの不登校者数は、小学校が 35.4 人で全国より 12.4 人多く、中学校は 77.5 人で全国より 9.6 人多かった。との報道がある。次の件について伺う。</p> <p>(1) 本町の 2024 年度の小中学校ごとの不登校人数と前年度比について</p> <p>(2) 本町の 2024 年度小中学校ごとの千人当たりの不登校者数度比について</p> <p>(3) 不登校児童対応に関するスクールカウンセラーやソーシャルワーカーの役割について</p> <p>(4) 学校以外で学習した場合において出席とみなす取り組みがあるか</p>	<p>教育長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑩ 伊 計 裕 子 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 平和行政について</p>	<p>高市首相が衆院予算委員会で、台湾有事になれば米軍の戦争に自衛隊が参戦する「存立危機事態」に該当するとの危険な発言を行い、撤回すべきだと指摘されても、撤回しないと声明。政府は、外国の領土を攻撃できる長射程ミサイルを今年度中に熊本市の中心市街地にある陸上自衛隊健軍駐屯地に初配備するのを皮切りに茨城県、神奈川県、静岡県に配備します。また、ミサイルを貯蔵するため北海道から沖縄まで全国各地で弾薬庫の新增設計画が目白押しです。熊本市では、</p>	<p>町 長</p>

	<p>配備撤回や住民説明会の開催を求めているが、木原官房長官も小泉防衛相も実施する予定はないと。高市首相は、防衛大臣の判断に任せたい。長射程ミサイルは全然足りない。もっともこの抑止力を強くしていかなければいけないと答弁しています。また、自民と維新で平和憲法も変えようとしている戦後最悪の危険な政権です。戦後 80 年、今を戦前にさせない、絶対に政府によって戦争を起こさせないために、声を上げなくてはならないと思います。町長の見解を伺います。</p>	
<p>2. 補聴器助成について</p>	<p>(1) 加齢性難聴者の補聴器購入助成が一昨年から行われていますが、各年度と現在の実績を伺います。</p> <p>(2) 周知方法について伺います。</p> <p>(3) 対象者を住民税非課税世帯ではなく本人が住民税非課税へのご検討いただけないでしょうか。</p> <p>(4) 18 歳以上 65 歳未満で中程度の難聴者への補聴器助成もご検討いただけないでしょうか。</p> <p>(5) 特定健診で希望者が聴力検査を受けられるように、中部の市町村などさまざまな機会に提案していただけないでしょうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 教育行政について</p>	<p>(1) 就学援助制度について以下の点について伺います。</p> <p>ア. 小中それぞれ過去 5 年間と現在の就学援助費支給者人数と割合</p> <p>イ. 国、県からの補助状況</p> <p>ウ. 周知方法</p> <p>(2) 2024 年度には 35 万人を超える小中学生が不登校だと報じられました。以下の点について伺います。</p> <p>ア. 町内の各小中学校の現在の時点での不登校・登校しぶり児童生徒数。</p> <p>イ. 現在学校給食費が小学校半額、中学校全額補助とな</p>	<p>教育長</p>

	<p>っていますが、不登校等の児童生徒への補助はどうなっているのでしょうか。</p> <p>ウ。「子どもの権利条約」にある「休息の権利」をどのように認識されているのでしょうか。</p> <p>(3) 沖縄県教育委員会が出した「学校における働き方改革」の取組目標『私たちのピース・リスト 2023』に基づいて、西原町教育委員会も教職員の働き方改革のために取り組まれています。そこで、以下の点について伺います。</p> <p>ア. 勤務時間途中の休憩時間の適切な確保</p> <p>イ. 時間外在校等時間月 45 時間、月 80 時間、年間 360 時間以上の教職員の状況</p> <p>ウ. 教育委員会から学校へ依頼する調査・報告等の整理・縮減</p> <p>エ. 関係団体への各種コンクール等の周知・募集方法等の見直しの依頼</p> <p>オ. 全国学力・学習状況調査の自校採点・Web システム入力業務の見直しの検討</p>	
<p>質問者</p>	<p>⑫ 儀間 駿太郎 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 小学校周辺の安全について</p>	<p>ここ最近では、台風よりも急な大雨による冠水などによる水害の危険性が増えているかと思えます。そこで以下についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 通学路といわれる箇所では大雨による冠水等がおきているのでしょうか</p> <p>(2) 歩道の幅や草木や障害物等による環境不良等の報告等はあるのでしょうか</p> <p>(3) 兼久・東崎線周辺の登下校時の危険な横断等がいくつか見受けられますが本町としてどのようにかんがえているのでしょうか。</p>	<p>教育長 町長</p>

<p>2. 町民体育館 トレーニングルームについて</p>	<p>何度か一般質問で取り上げましたが、町民体育館のトレーニングルームにおける器具の老朽化が著しいと利用者から声が届きます。そこで以下についてお伺いします。</p> <p>(1) トレーニング器具の整備計画等はあるのでしょうか</p> <p>(2) 耐用年数等とのバランスはどのようになっているでしょうか</p> <p>(3) 維持管理・修繕等に係る費用はいくらでしょうか</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 教育行政について</p>	<p>本町における教育行政全般についてお伺いします。</p> <p>(1) 派遣費補助について、町内学校に通っている児童生徒が町外のチーム等で派遣が決まった場合の派遣費の補助対象になっているのでしょうか</p> <p>(2) 子供たちが地域とのかかわりを持つために現在取り組んでいることはあるのでしょうか。</p> <p>(3) 児童生徒における海外との交流等を増やしていく必要性があるかと考えますが当局のお考えをお聞かせください。</p>	<p>教育長</p>
<p>4. 財政について</p>	<p>現在、政府によるいくつか税制変更が検討されております。本町はじめ地方自治体の財政にも大きく影響してくるかと思えます。そこで以下についてお伺いします。</p> <p>(1) いわゆる年収の壁と言われた103万円か160万円へ引き上げられますが本町としてどのような影響があるのでしょうか</p> <p>(2) ガソリン暫定税率が廃止される方向となっておりますが本町へはどのような影響があるのでしょうか</p>	<p>町 長</p>

<p>5. 公園整備について</p>	<p>本町の公園整備についてお聞きします。</p> <p>(1) 東崎都市緑地内に新たな施設ができましたが、その経緯と今後の展望をお聞かせください。</p> <p>(2) 町内公園における維持管理・修繕に係っている年間費用をお聞かせください。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑬ 喜納昌盛 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 次年度の事業計画と予算編成について</p>	<p>次年度の事業計画と予算編成に、実施計画の毎年ローリング方式の下、今、各部・課ともその作業に取り組まれているものと思う。次の定例会の3月議会では、町長の施政方針が示され、事業と予算案が審議されるわけですが、そこで、現段階での各事業の評価等を踏まえ、以下のことについてお聞きする。</p> <p>(1) 町長公約に基づいて、次年度の事業計画にどう盛り込む考えか。</p> <p>(2) 今現在の予算編成の状況は。自主財源は限られ歳出の増大が想定されるが、財政調整基金の取崩しはどう考える。</p> <p>(3) 各部の委託業務の件数とその選定方法は。その中で、次年度に向け改善の余地がある委託業務は。</p> <p>(4) 町の単独事業の精査と、次年度に向けた見直し等はあるのか。</p> <p>(5) 中央公民館の立替えを含め、想定される施設の改修・改築の具体的計画もされるのか。</p> <p>(6) 学校給食の完全無償化についての方針は、どう検討されているのか。</p> <p>(7) 国民健康保険特別会計の累積赤字解消計画の見通しは。</p> <p>(8) 物価高騰が続く。政府の方針や施策・予算にもよるが、町が行える対策・対処はあるのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

質問者	⑭ 長 浜 ひろみ 議員	質問の相手
1. 研修や講演 会開催について	<p>(1) 教育や保育の質の向上の研修、保護者やボランティア研修の実施方法や現在実施している研修の開催形式、開催頻度、所要時間等の概要を伺う。</p> <p>(2) 参加者から寄せられている移動や拘束時間に対する負担の声について、はどのように把握しているか見解を伺う。</p> <p>(3) オンライン参加を含むハイブリッド形式での研修実施について、今後導入すべきと考えるが見解を伺う。</p>	町 長
2. 人口減少・ 高齢化社会 に ついて	<p>(1) 町内における高齢化率の高い自治会の現状について伺う。</p> <p>(2) 高齢化率の高い自治会順を伺う。</p> <p>(3) 高齢化率が高いと限界集落に陥ってしまう見込みもあると思うがその対策を伺う。</p>	町 長
3. ユースセン ター設置につい て	<p>(1) 中高生世代が安心して集い、自由に過ごすことができる「学校でも家庭でもない、第三の居場所」の現状や課題について、どのように把握・分析しているか伺う。</p> <p>(2) 中高生世代の居場所や活動拠点として ユースセンターを設置すべきと考えるが見解を伺う</p>	町 長
4. 学校教育行政・子ども・若 者政策について	<p>(1) 闇バイトに巻き込まれないように、中学校を卒業して4月以降アルバイトができるようになる中学3年生を対象に労務分野に精通したプロ、社会保険労務士による出前授業を実地するべきと考えるが見解を伺う。</p>	町 長

5. 防犯教育について	<p>(2) 出前授業を行う際は全体的に行うのではなくクラス別に行った方が良い、見解を伺う。</p> <p>(1) 防犯教育「いかのおすし」防犯意識を高めるために子どもに達には繰り返し日々の生活の中で教えていくことが大切だと思うが現状を伺う。</p>	町 長
質 問 者	⑮ 大 田 實 議 員	質問の相手
1. 329バイパスが早急に開通するよう希望する。	<p>与那原バイパスが開通し与那原交差点（与那原警察前）の渋滞が軽減されたことは功を成したと言うべきでしょう。しかし与那原バイパスから国道329号に接続する交差点は平面交差点となりました。我謝地区側からひしめき合う進入進出車両もあり交通の難所とされる我謝交差点と隣接し、予想された交通渋滞は言うまでもありません。やはり当初の計画の「立体交差点」にすべきです。今後予定される浦添西原線、兼久からシンボルロード線も329号国道では平面交差点となります。ご承知のように交通渋滞は経済効果の損失、事故リスクの増加、ドライバーや同乗者の精神的ストレスとなります。与那原バイパスの329号交差点は是非とも立体交差点にすべきです。経済効果を逃がすことはないと思うがどうですか町長可能か問う。</p>	町 長
2. 土地用途変更について	<p>どうですか町長もっともっと全ての世代にいき甲斐のある楽しいまちづくりを目指しませんか？我が西原町でも少子化高齢化は顕著となりつつあります。熊本県の菊陽町とまでは行かないが西原南小学校辺りからマルシェまでの農振区域を見直してはどうでしょうか。住宅地の拡充、事業所の進出、そして可能ならば困窮世帯が入居可能な公営住宅建設。人口増加には移住、定住の促進が不可欠だと考えますが可能か。</p>	町 長